



ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和7年4月1日
小樽開発建設部

令和7年度北海道開発事業費

(小樽開発建設部実施分)の概要について

令和7年度北海道開発事業費（小樽開発建設部実施分）について、別紙のとおりお知らせします。



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

全体	広報官	ひろせ ひさえ 廣瀬 久恵	(0134-23-9910)
河川関係	工務課長	すだ のりかず 須田 典一	(0134-33-0525)
道路関係	道路計画課長	きかのうえ ゆき 坂ノ上 有紀	(0134-23-5229)
港湾・水産関係	築港課長	はまだ かずや 浜田 和哉	(0134-23-5205)
農業関係	農業開発課長	いわぶち なおと 岩渕 直人	(0134-23-9634)



令和7年度

北海道開発事業費の概要
(小樽開発建設部実施分)

令和7年4月

小樽開発建設部

目 次

I 令和7年度 小樽開発建設部事業費総括表	1
II 小樽開発建設部関係事業概要(事業別)	
治水事業	2
道路事業	3
港湾整備事業	7
農業農村整備事業	8
水産基盤整備事業	9

令和7年度 小樽開発建設部事業費総括表

(事業費)

(単位：百万円)

事 項	予 算 額	備 考
治 水	771	
道 路	24,352	
港 湾 整 備	2,407	
農 業 農 村 整 備	1,959	
水 産 基 盤 整 備	1,500	
合 計	30,989	

注) 1. 治水には都市水環境整備を含む

2. 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない

3. 四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある

治水事業



一級河川尻別川（国管理延長 24.2km）では、気候変動に伴う水害・土砂災害等の激甚化・頻発化に備えるため、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む流域治水を更に加速化・深化させるためにとりまとめた「尻別川流域治水プロジェクト 2.0」に基づき、河道掘削、地震津波対策、水害タイムラインによる防災訓練など、ハード・ソフト一体的な防災・減災対策に取り組みます。

また、安全・安心な社会基盤の形成に向けて、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を着実に推進するとともに、河川空間利用に関する情報を効果的に発信するなど、農林水産業や観光等を担う「生産空間」の維持・発展に貢献します。

令和7年度は、河川改修として洪水を安全に流下させるための河道掘削等、河川維持修繕として堤防・樋門等の施設機能を保持するための河川管理施設の点検整備等を実施します。



河道掘削



堤防管理



尻別川サイクリングコースマップ

治水事業の概要

事業別	地区別等	事業の概要
河川改修	尻別川	河道掘削等
河川維持修繕	尻別川	堤防管理、水閘門等維持管理、河川巡視等

国土交通省

川の防災情報

"気象"×"水害・土砂災害" 情報マルチモニタ

川へ行こう！ 川を楽しもう！

かわたび

ほっかいどう

KAWATABI HOKKAIDO

北海道総合開発計画のもと、川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を効果的に発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進しています。

道路事業

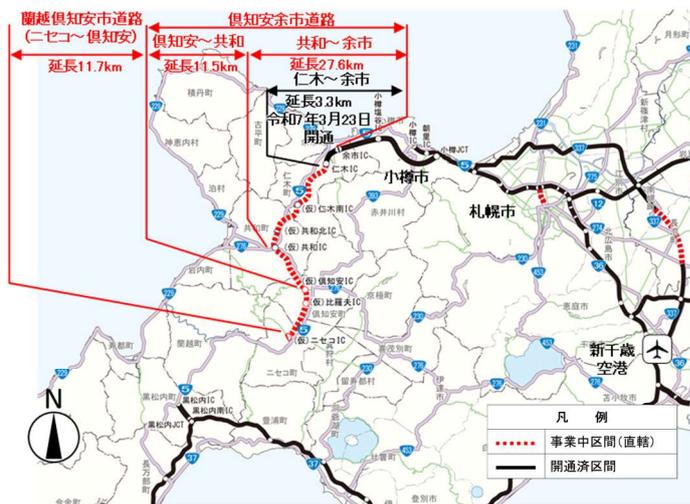
1. 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成

○ 広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備

圏域中心都市や空港・港湾へのアクセス向上、及び生産空間からの物流、観光地への人流を支える高規格道路ネットワークの整備を推進します。

- ・ 国道 5 号 蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安） 延長 11.7km
- ・ 国道 5 号 倶知安余市道路（倶知安～共和） 延長 11.5km
- ・ 国道 5 号 倶知安余市道路（共和～余市） 延長 27.6km

【うち仁木 IC～余市 IC 延長 3.3km 令和 7 年 3 月 23 日開通】



国道 5 号 倶知安余市道路（共和～余市）
仁木 IC 付近

○ 北海道型地域構造の保持・形成に向けた物流効率化支援

北海道型地域構造の保持・形成を図るため、地方部の生産空間で生産される農産品の消費地への輸送や、地方部への日用品等の輸送といった物流の効率化を支援します。

2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

○ 「シーニックバイウェイ北海道」の推進

「シーニックバイウェイ北海道」において、魅力ある道路景観を地域の重要な観光資源の一つとして確立するため、特に魅力的な区間について、景観の維持・形成、情報発信を重点的に推進するシーニックバイウェイ「秀逸な道」の取組を引き続き推進し、地域との協働を通じて生産空間のコミュニティ維持を推進します。

小樽開発建設部は、管内の「支笏洞爺ニセコルート」の活動と連携した取組を推進します。



八幡ビューポイントパーキング（国道 276 号 倶知安町）
シーニックバイウェイ「秀逸な道」
No. 3 美しく変化する羊蹄山の稜線に寄り添う道

○ サイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向け、「羊蹄ニセコエリアサイクルルート」では、ルート協議会（羊蹄ニセコ自転車走行協議会、通称 YNCA）を中心に地域と連携し、安全で快適な自転車走行環境の改善やサイクリストの受入環境の充実、情報発信および地域独自の取組など、官民一体となって推進します。また、道路空間を安全に共有する「シェア・ザ・ロード」の意識醸成に向けて多様な主体と連携した取組を推進します。



サイクル拠点の開設
(国道5号ニセコ除雪ステーション)

3. 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ 災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格道路の整備や、道路斜面・盛土等の防災対策を推進します。

また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（令和2年12月閣議決定）を踏まえ、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（北海道ブロック版）」を令和3年4月に策定し、耐災害性の強化や災害時におけるネットワーク確保のため防災震災対策や高規格道路のミッシングリング解消を推進します。

- ・国道5号 蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安） 延長 11.7km
- ・国道5号 倶知安余市道路（倶知安～共和） 延長 11.5km
- ・国道5号 倶知安余市道路（共和～余市） 延長 27.6km
- ・国道229号 島牧防災 延長 6.1km



国道229号 島牧防災（島牧村）

○ 防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱化について、低コスト技術等を積極的に導入しつつ、事業のスピードアップを図ります。

- ・国道5号 倶知安地区電線共同溝、小樽花園電線共同溝、小樽花園第二電線共同溝
- ・国道229号 余市駅前電線共同溝

○ 社会経済活動を支える道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

○ 冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。また、大雪・暴風雪時の取組として、道路管理者間で連携した高速道路通行止め時の並行路線対策やラジオ放送・SNSを活用した情報発信、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊：リエゾン[※]を含む）の派遣による自治体支援などを、円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。

（※リエゾン：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として地方公共団体へ派遣する職員）

○ 交通安全対策の推進

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン[※]」を推進するとともに、自転車事故の危険性が高い区間については、自転車走行空間整備を計画的に推進します。

また、通学路や未就学児の移動経路において、子供の安全な通行を確保するための対策を関係機関と連携して推進します。

（※事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組）

- ・ 国道 5 号 高砂交差点改良
- ・ 国道 229 号 朝日町交差点改良
- ・ 国道 230 号 川上中央帯整備、尻別路肩改良【令和 7 年度新規事業化】
- ・ 国道 276 号 国富路肩改良、北岡路肩改良【令和 7 年度新規事業化】
- ・ 国道 337 号 銭函 3 丁目交差点改良
- ・ 国道 393 号 落合視距改良【令和 7 年度新規事業化】

○ 「道の駅」の防災拠点化

近年、激甚化・頻発化する自然災害に備え、各地で広域的な復旧・復興活動の拠点整備が進められており、地域防災計画に位置付けられた「道の駅」において、地域の防災力向上に資する防災拠点の整備や機能向上を図っています。

令和 3 年 6 月には地域防災計画等で、広域的な防災拠点に位置付けられている道の駅のうち、小樽開発建設部管内では「ニセコビュープラザ」が「防災道の駅」に選定されています。また、広域災害応急対策の拠点となる防災機能を有する道の駅の駐車場を「防災拠点自動車駐車場」として、「ニセコビュープラザ」、「230ルスト」の 2 駅が令和 4 年 3 月に指定されています。

「防災道の駅」をはじめとする地域防災計画に位置付けられた道の駅においては、更なる防災機能強化に向けて、BCPに基づく防災訓練等について重点的に支援していきます。



防災訓練「道の駅ニセコビュープラザ」

道路事業の概要

路線名	主要事業	
国道 5 号	高規格道路の整備	蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安） 倶知安余市道路（倶知安～共和） 倶知安余市道路（共和～余市） 【うち仁木 IC～余市 IC 延長 3.3 km 令和 7 年 3 月 23 日開通】
	無電柱化	倶知安地区電線共同溝、小樽花園電線共同溝、小樽花園第二電線共同溝
	交通安全対策	高砂交差点改良（倶知安町）
	老朽化対策	道路構造物修繕（橋梁、トンネル）
国道 229 号	防災対策	島牧防災
	無電柱化	余市駅前電線共同溝
	交通安全対策	朝日町交差点改良（余市町）
	老朽化対策	道路構造物修繕（橋梁、トンネル）
国道 230 号	交通安全対策	川上中央帯整備（喜茂別町）、尻別路肩改良（喜茂別町、留寿都村）【令和 7 年度新規事業化】
国道 276 号	交通安全対策	国富路肩改良（共和町）、北岡路肩改良（京極町）【令和 7 年度新規事業化】
国道 337 号	交通安全対策	銭函 3 丁目交差点改良（小樽市）
国道 393 号	交通安全対策	落合視距改良（赤井川村）【令和 7 年度新規事業化】

港湾整備事業

港湾整備事業では、産業を支える物流ネットワークの機能強化や安定性確保を図るため、重要港湾の小樽港及び石狩湾新港、地方港湾の岩内港の整備を行います。

小樽港では、港内静穏度の向上を図るための防波堤の改良、石狩湾新港では、水深不足による非効率な輸送を解消するための新たな岸壁の整備、岩内港では、物揚場の老朽化対策を進めます。



小樽港北副防波堤
整備状況



石狩湾新港水深 12m 岸壁
整備状況

港湾整備事業の概要

港湾名	地区名	事業の概要
<重要港湾> 小樽港 石狩湾新港	本港地区 勝納地区 東地区 本港地区	北副防波堤改良 水深 10m 岸壁改良 水深 12m 岸壁 北防波堤
<地方港湾> 岩内港	本港地区	水深 3m 物揚場改良

農業農村整備事業

農業農村整備事業では、地域の食料供給力や産地収益力を向上させ農林水産業の持続的発展を図るため、国営緊急農地再編整備事業「ニセコ地区」を実施し、農地の土地利用の再編、担い手への農地利用集積を行う区画整理を進めるとともに、双葉ダムをはじめとする用水施設の整備や用水再編を行う国営かんがい排水事業「中後志地区」を実施します。



ニセコ地区

農地の区画整理工事の実施状況



中後志地区

用水路改修工事の実施状況

農業農村整備事業の概要

事業種別	地区名	関係町村名	受益面積	計画概要
国営緊急農地再編整備事業	ニセコ地区	ニセコ町	1,490ha	区画整理 1,490ha
国営かんがい排水事業	中後志地区	京極町 倶知安町 共和町	2,893ha	ダム改修 1か所 頭首工改修 1か所 用水路改修 5条

水産基盤整備事業

水産基盤整備事業では、沿岸漁業等の生産・流通拠点、また、周辺海域で操業する漁船の陸揚げ及び避難拠点として重要な役割を担う第3種漁港、第4種漁港の整備を実施しています。

古平地区では、港内静穏度向上のための防波堤の改良整備、美国地区では、漁業就労環境の改善を図るための屋根付き船揚場の整備、寿都地区では、ホタテ養殖漁業の衛生管理対策のための岸壁の整備を実施します。また、漁港施設の長寿命化を図るため、古平漁港において船揚場等の補修、美国漁港において航路の浚渫、寿都漁港において道路の補修を実施します。



古平地区 東防波堤（改良）整備状況



寿都地区 南ふ頭整備状況

水産基盤整備事業の概要

事業区分	地区名	事業の概要
特定漁港漁場整備事業	古平地区 (第3種古平漁港)	外郭施設：東防波堤(改良)
	美国地区 (第3種美国漁港)	係留施設：船揚場(改良)
	寿都地区 (第3種寿都漁港)	外郭施設：護岸(南) 係留施設：水深3.5m岸壁(南)、 水深3.0m岸壁(南)
	小樽管内地区	【古平漁港】 係留施設：船揚場（補修）、 輸送施設：道路A・道路B・道路C（補修） 【美国漁港】 水域施設：水深5.0m航路（補修） 【寿都漁港】 輸送施設：7.5m道路（補修）